

斐伊川・神戸川治水事業の推進について

【国土交通省】

提案・要望の内容

斐伊川・神戸川治水事業を推進すること。

- 1 大橋川改修及び宍道湖・中海湖岸堤防の整備促進
 - ・環境、景観や背後のまちづくりに配慮した事業の取組
 - ・大橋川中下流部からの早期事業着手
 - ・中海湖岸堤整備の本格事業実施
- 2 ダム建設の促進（志津見ダム・尾原ダム）
 - ・計画工期（平成22年度末）での完成
- 3 斐伊川放水路建設の促進
 - ・計画工期（平成20年代前半）での完成

【現状と課題】

○ 現 状

- ・志津見ダム、尾原ダム、斐伊川放水路は順調に建設が進められている。
- ・大橋川改修は、国土交通省において、環境、まちづくりなどに関する提言や意見を踏まえ、具体的な計画策定が進められている。
- ・中海湖岸堤は、国土交通省が中心となり、関係機関と整備主体や整備方法などの調整が進められている。

○ 課 題

① 大橋川改修の促進

治水事業によって影響がある背後の市街地整備、事業予定地が市街地中心部であることから景観・商業活動への影響など、住民に不安や様々な意見がある。

② 中海湖岸堤の整備促進

高潮・風浪対策として、中海湖岸堤の早期整備を沿岸住民から求められている。

【本県の取組状況・方針】

○ 大橋川改修の促進

中下流部からの早期事業着手に向けて、事業の内容、進め方などについて、地元説明や、一般市民に対する広報活動を行っている。

また、松江大橋やその周辺の取扱いについて、国や松江市とともに「松江大橋および周辺整備検討委員会」(仮称)を設置し、検討することとしている。

【提案・要望の効果】

○ ダム建設（志津見ダム、尾原ダム）、斐伊川放水路建設の促進

- ・流域住民にとって、安心・安全な河川環境が実現する。

○ 大橋川改修の促進

- ・過去幾度となく洪水により浸水被害を受けた松江市において、安全・安心な都市環境が実現する。
- ・城下町の風情やたたずまいを大切にし、景観や環境に配慮した河川事業を行うことにより、中心市街地のにぎわい、国際文化観光都市として新たな魅力が創出される。

○ 中海湖岸堤の整備促進

- ・高潮や風浪による浸水被害を防ぐこととなり、住民の不安が解消される。

斐伊川・神戸川治水事業

- ①下流部の大橋川改修と中海・宍道湖湖岸の整備
- ②中流の斐伊川放水路の建設と斐伊川本川の改修
- ③斐伊川と神戸川の上流にダムを建設

・上流部の2つのダム、中流部の放水路は、順調に進捗中



志津見ダム・尾原ダム 平成22年度末 完成
斐伊川放水路 平成20年代前半 完成予定

・下流部の大橋川改修の早期着工

大橋川の現況



平成18年7月豪雨の様子



H18.7.19 大橋川右岸(水位 1.96m)



H18.7.19 松江市内(浸水深 0.5m)



H18.7.19 JR松江駅前(浸水深 0.5m)